

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレ。 目次。



1. ニューBMW 4 シリーズ カブリオレ:	
ハイライト。.....	2
2. デザインと機能性:	
美しさ、オープン・エア・ドライビングの歓び、日常的な使いやすさ。.....	5
3. ドライビング・ダイナミクス:	
オープン・エアの駆けぬける歓び。.....	11
4. パワートレイン:	
ダイナミックで効率的なエンジン。.....	15
5. BMW エフィシエント・ダイナミクス、BMW コネクテッド・ドライブ。.....	18
6. 主要諸元。.....	22

1. ニューBMW 4 シリーズ カブリオレ： ハイライト。



ニューBMW 4シリーズ カブリオレは、BMW の提供するプレミアム・ミドルレンジ・オープン・カーの新時代の幕開けを飾るモデルです。BMW 4 シリーズ クーペに導入された新しいデザインは、BMW 4 シリーズ カブリオレではさらにはっきりと存在感を増し、ハードトップを開けているか閉めているかに関係なく、ダイナミクス、エレガンス、そして卓越したドライビング・プレジャーの新たな基準を確立します。ニューBMW 4 シリーズ カブリオレは、その独自のデザインだけでなく、多くの装備品の技術的特徴においても BMW 3 シリーズとの違いを際立たせています。

ニューBMW 4シリーズ カブリオレは、先代の BMW 3 シリーズ カブリオレに比べて、車幅、トレッド、ホイールベースが明らかに拡大されました。このクルマの調和のとれた完璧なプロポーションや特徴的な流れるようなラインは、BMW 特有の前後のショート・オーバーハングやロング・エンジン・フード、後方に寄せられたパッセンジャー・セルなどによって強調されています。一方、BMW 特有のデザイン的特徴のダブル・キドニー・グリル、片側 2 灯式ヘッドライト、フロント・エプロンの大きなエア・インテークは、BMW 3 シリーズ・ファミリーとのつながりをはっきりと示しています。

BMW 4 シリーズ カブリオレのエアロダイナミクスに貢献する目に見えるエレメントが、いわゆるエア・ブリーザーです。フロント・ホイール・アーチの後ろに設けられたエア・ブリーザーは、すでにおなじみのエア・カーテンと共にフロント・ホイール周りの気流の乱れを抑制し、その結果として空気抵抗を削減します。リヤ・エンドのフラットなデザインは、流れるような全体のシルエットに調和しています。水平のラインと盛り上がったホイール・アーチが、このクルマが後輪駆動であること、およびワイドなトレッドを強調しています。

ルーフ構造を改善し、快適性および機能性を向上。

ニューBMW 4シリーズ カブリオレの独特のデザインにより、ルーフを開けているときにはそのエレガントなシルエットとバランスのとれたプロポーションによって、またルーフを閉じたときには極めてダイナミックな、B ピラーのないクーペ特有のルーフ・ラインによって、見る人を魅了します。BMW 4 シリーズ カブリオレに装備する 3 ピース構造のリトラクタブル・ハードトップは、「吸音性ルーフ・ライニング」を採用して遮音性を大幅に向上させ、一年を通じての、また特に冬期の快適性を大幅に向上させています。ルーフ・ライニングですべてが覆われ、インテリア・ランプが装着された室内側は、スポーティなプレミアム・クーペの雰囲気を出しています。ハードトップを開けてトランクに収納したときは、必要に応じて標準装備のローディング・アシスト機能を使って収納したルーフをラゲージ・ルームの上方に持ち上げれば、容易に荷物の出し入れができます。そのためハードトップを開けている状態でも、比較的大きな荷物を積み込むことができます。低くスポーティなシートによりフロント、リヤ共に大きなヘッド・クリアランスが得られ、後席足元のスペースも先代モデルより広がっています。

個性的な装備のデザイン・ラインと細部にわたる上質さ。

エレガンス、そして高級感を追求する姿勢は、BMW 4 シリーズ カブリオレのインテリアにも見ることができます。重要な操作部はすべて運転席周りの人間工学的に最適な場所に配置され、ドライバーはあらゆる機能に最適にアクセスできます。ドアにデザインされたラインとサーフェスは、互いに集まりながらリヤへ向かって流れ、ドアとサイド・パネルの明るいカラーとハードトップ・カバーとの組み合わせによるツートン効果が、いわゆる「ボート・デッキ」のような高級感のある印象を生み出しています。BMW 4 シリーズ カブリオレの包み込むようなラップ・アラウンド・インテリア・デザインにより、すべての乗員が視覚的な一体感を感じることができ、ドライバー・オリエンテッドなコックピットの雰囲気を楽しむことができます。まったく新たにデザインされたシートはシートベルト内蔵式で、電動調整機能が標準装備されています。この標準シートやオプションのヘッドレスト一体型のスポーツ・シートには、希望に応じて運転席と助手席にネック・ウォーマーを装備することができます。これはニューBMW 4 シリーズ カブリオレで初めて導入された装備です。ハードトップを開けていると、設定温度は外気温度と車速に応じて自動制御されます。

標準仕様の他に、3 種類のデザイン・ラインと M スポーツ・パッケージが用意されます。デザイン・ラインの Sport、Modern、Luxury を選ぶことで、インテリアやエクステリアの雰囲気を個性的にカスタマイズすることができます。選び抜かれた素材と熟練のクラフツマンシップによる加工が、BMW 4 シリーズ カブリオレのプレミアムな雰囲気を際立たせます。

最高レベルの運動性能。

BMW 4 シリーズ カブリオレでは、ボタンひとつで比類ないオープン・エア・ドライビングを楽しむほか、優れた運動性能と卓越したハンドリング特性によって、アクティブな走りを実現します。BMW のエンジニアは、ステアリングの正確さ、軽快感、俊敏性といった特性を大幅に改善することに成功しました。これを実現するためにはさらに、高度なサスペンション技術、駆動力の影響を受けない電動パワー・ステアリング、バランスの良い 50:50 の前後軸荷重配分、風洞試験で精密調整された空力特性、革新的な軽量構造のコンセプトなどによる優れた基本特性も貢献しています。このクルマのスポーティな印象をもたらす外観は、ロング・ホイールベース、ワイド・トレッド、そして標準装備されたローダウン仕様のサスペンションによるものです。その結果として低重心化を実現し、運動性能面においても決定的な効果をもたらしています。

導入時にはガソリン・エンジンが 2 種類とディーゼル・エンジンが 1 種類。

BMW 4 シリーズ カブリオレの導入時には、直列 6 気筒ガソリン・エンジン搭載の BMW 435i カブリオレ、4 気筒ガソリン・エンジン搭載の BMW 428i カブリオレ、そして 4 気筒ディーゼル・エンジン搭載の BMW 420d カブリオレを用意します。これらのエンジンは最新の BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用し、出力域 135 kW (184 ps) ~ 225 kW (306 ps) をカバーしています。この最先端のパワー・ユニットにより、BMW 4 シリーズ カブリオレは突出した加速と柔軟なエンジン特性を実現しながら燃費も大幅に削減し、EU6 基準をクリアしています。

6 速マニュアル・トランスミッション、8 速オートマチックまたは 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションを用意。

リヤ・ホイールに駆動力を伝達するトランスミッションは、6 速マニュアル・トランスミッションが標準装備されています。BMW では、オプションとして 8 速オートマチック・トランスミッションまたは 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションをすべてのエンジン・バリエーションに用意しており、スポーツ・オートマチック・トランスミッションを搭載するとステアリング・ホイールのパドル・スイッチを使ってマニュアル・ギヤ・シフトを行うこともできます。すべてのトランスミッションに、オートマチック・エンジン・スタート／ストップ機能を標準装備しています。さらに 2014 年春には、BMW 428i カブリオレにインテリジェント四輪駆動の BMW xDrive モデルを投入します。

BMW エフィシエント・ダイナミクス。

ニューBMW 4 シリーズ・カブリオレは、駆けぬける喜びと比類ない経済性を同時に提供します。そのためにニューBMW 4 シリーズ カブリオレには、BMW エフィシエント・ダイナミクス開発戦略を通じて生まれた革新的なテクノロジーを随所に採用しています。例えば、燃費を向上させたガソリン・エンジンとディーゼル・エンジンの他、インテリジェント・ライトウェイト構造コンセプトや、エア・カーテンおよびエア・ブリーザーによるエアロダイナミクスの最適化などがあります。その他にも、オートマチック・エンジン・スタート／ストップ機能やブレーキ・エネルギー回生システム、シフト・ポイント・インジケーター、オンデマンド制御の補機類があり、さらに革新的なプロアクティブ・ドライビング・アシスタントによって、駆けぬける喜びを損なうことなく、燃費と排出ガスを大幅に改善します。また ECO PRO モードを利用すると、燃費を最大 20 パーセント削減することができます。この新型カブリオレのオートマチック・トランスミッション搭載車では、BMW 4 シリーズ クーペと同様にコースティング・モードを利用できます。カブリオレ・モデルにコースティング・モードを採用するのは今回が初めてです。

BMW コネクテッド・ドライブ。

BMW は、クルマと外部環境とをネットワークで結ぶことの重要性を早くから認識し、独自のモビリティ・サービスとドライバー・アシスタント・システムを提供してきました。これらのサービスやシステムは、コネクテッド・ドライブに関連する製品として BMW 4 シリーズ カブリオレに標準装備、またはオプションとして提供されます。また、一部のサービスや機能は、車両をオーダーした後の一定期間内であれば、追加装備することもできるようになりました。これによりニューBMW 4 シリーズ カブリオレは、安全性、快適性、エン터테인먼트の面で新たな基準を確立します。このニュー・モデルのハイライトとしては、新世代ナビゲーション・システム・プロフェッショナル、フルカラー表示の BMW ヘッドアップ・ディスプレイ、歩行者との衝突の可能性を警告するドライビング・アシスタント、インテリジェント制御によって対向車の眩惑を防止できる LED ハイビーム・アシスタント、注意力低下モニター付きアクティブ・プロテクション、さらに進化したストップ＆ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロールなどがあります。



2. デザインと機能性: 美しさ、オープン・エア・ドライビングの喜び、 日常的な使いやすさ。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレは、BMW のプレミアム・ミドルサイズ・オープン・モデルの歴史における第五世代モデルとして、そのサクセス・ストーリーを継承します。ニューBMW 4 シリーズ クーペと同様に、この新しいBMW 4 シリーズ カブリオレも美しさとスポーティなデザインにおける新たな次元を切り拓きます。同時にこのニュー・モデルは、プレミアム・ミドルサイズ・カブリオレ・セグメントにおいて BMW が長年にわたり堅持してきたリーダーの座をより強固にするでしょう。ニューBMW 4 シリーズ カブリオレのデザインは、先代モデル以上に、目を奪うほどの魅力と強烈な存在感を放ちます。BMW 4 シリーズ カブリオレは、その驚異的な運動性能と最高レベルの駆けぬける喜びにより、BMW 4 シリーズ クーペに続く新たなマイルストーンを確立します。

アスリートのような優美さ、完璧なプロポーション。

伝統的に BMW のカブリオレは、そのダイナミックでバランスのとれたプロポーションにより、ルーフを開けていても閉じていても変わらぬ魅力を届けてきました。ニューBMW 4 シリーズ カブリオレでは、生まれながらのこの魅力に一段と磨きをかけました。先代の BMW 3 シリーズ カブリオレに全長(4,638mm)は+26mm の増加ですが、ホイールベース(2,810mm)は+50mm 拡大され、全幅が+43mm 拡大して 1,825mm になったことにより、極めてスポーティでしかもエレガントな印象を与えます。そして先代モデルよりもさらに短くなったオーバーハング、ロング・エンジン・フード、後方に寄せられたキャビン、そしてワイドになったトレッド(フロント+45mm、リヤ+81mm)が、美しいシルエットを強調するアクセントになっています。

スポーティな存在感で目を惹くフロント・エンド。

BMW 4 シリーズ カブリオレの外観はひとときダイナミックでスポーティな印象を放ちながらも、そのフロント・エンドは BMW 3 シリーズとのつながりを強く意識させるデザインに仕上げられています。特徴的なデザイン・エレメントのダブル・キドニー・グリルや片側 2 灯式のヘッドライトにより、ひと目で、BMW のクルマであることが分かります。緻密に造形された輪郭線と、これらのラインに区切られたいくつものサーフェスが、印象的なフロント・マスクを形作っています。六角形の輪郭を持つフル LED 式アダプティブ・ヘッドライト(オプション装備)とやや前方に傾斜しているキドニー・グリルがつながったような一体感を持たせ、BMW 4 シリーズ カブリオレのスポーティな印象を強調しています。ヘッドライトをつなぐラインの下に配された大きなエア・インテークが、ワイドな車幅を強調しています。このエア・インテークの外縁には、エアロダイナミクスを向上させるエア・カーテンのための縦型のスリットがあります。

流れるラインが生み出すスポーティでエレガントなシルエット。

力強く張りのあるサーフェスと緻密に流れるようなラインが、BMW 4 シリーズ カブリオレにアスリートのようなシルエットをもたらしています。緩いカーブを描くルーフ・ラインが車両全体の伸びやかさを印象付け、サイド・ビューのスポーティさをエレガントに表現しています。3 ピース式リトラクタブル・ハードトップとボディの接続部を含むキャビンの周囲に配されたモールディングが上品なアクセントとなっています。このモールディングは、仕様に応じてクローム、ブラック、サテン・アルミニウム仕上げとなります。さらに、一体感のあるフラットなサイド・ウインドウ・デザインと、C ピラー底部に設けられた BMW 特有のスリムなホフマイスター・キंकが、見た目にもダイナミックで張りつめた印象を生み出しています。ウインドウのさらに下では、BMW 3 シリーズでもダブル・スエージ・ラインとして馴染みのキャラクター・ラインが、特徴的なサイド・シル・ラインと相まってダイナミックなくさび形のボディを強調しています。リトラクタブル・ハードトップを開くと、後席ヘッドレストの後方はラジオ・アンテナやロールバーさえも見当たらないフラットなデッキとなって、ダイナミックかつ美しいシルエットが姿を現します。ロールオーバー・プロテクション・システムは、後席ヘッドレストの後ろにすっきりと格納されています。

BMW 4 シリーズ カブリオレのフロント・ホイール・アーチの後方には、エア・ブリーザーと呼ぶエレメントを設け、エア・カーテンと組み合わせられてホイール・ハウス周囲の空気抵抗を減少させます。このエア・ブリーザーはスポーティなキャラクターを強調するデザイン的な要素を持つと共に、空力的な革新性を目に見える形で表現するエレメントでもあります。このような手法には、BMW の開発戦略である BMW EfficientDynamics が反映されています。BMW 4 シリーズ カブリオレのパワフルなデザインのリヤ・エンドにも、スポーティなキャラクターが表れています。目を引き付ける水平のラインと外側いっぱい配置されたワイドな L 字型テール・ライトが、たくましいホイール・アーチとワイドなトレッドを強調しています。

3 ピース式リトラクタブル・ハードトップ: フォর্মと機能。

BMW 4 シリーズ カブリオレは、ルーフを開けていても閉じていても変わらぬダイナミックなデザインと、日常の使いやすさを提供します。これらの、一見すると相反する特性は先代の BMW 3 シリーズ カブリオレで見事に解決され、プレミアム・ミドルサイズ・カブリオレ・セグメントのベンチマークを打ち立てました。ニュー BMW 4 シリーズ カブリオレの全高は 1,384mm で、BMW 4 シリーズ クーペよりわずかに 7mm 高くなっています。BMW 4 シリーズ カブリオレのハードトップはその構造をさらに改善し、吸音性ルーフ・ライニングによって車外の騒音を従来以上に効果的に遮断しており、先代モデルに比べて最大 2dB 引き下げています。

ハードトップ開けるときはボタンひとつでわずか 20 秒以内に全開することができ、わずかな時間でダイナミックなクーペからスポーティでエレガントなカブリオレに変身します。ハードトップは必要に応じて、走行中でも車速 18km/h 以下であれば開けることができます。BMW 4 シリーズ カブリオレの空気抵抗値はハードトップを閉じた状態で Cd 0.28 を計測し、オープン時でも Cd 0.33 にしかありません。

デザインを見直して横方向を拡大したオプションのウインド・ディフレクターと、新たにオプション装備品に用意された 3 ステージ温度調節式ネック・ウォーマーを装備すると、気温の低い時でもリラックスした状態でオープン・エアのハイウェイ・ドライビングを楽しむことができます。ウインド・ディフレクターは小さく、軽くなり、取り扱いが容易になっただけでなく、効果も向上しています。ウインド・ディフレクターを使用しないときは、取り外してコンパクトに畳んでリヤ・シートの後方に格納できます。これも新たな機能です。

BMW 4 シリーズ カブリオレは、リトラクタブル・ハードトップを開けて格納した状態でも余裕あるラゲージ容量を提供します。先代モデルと比べてラゲージ・ルームの開口部の幅が広くなって荷物の出し入れがしやすくなったほか、電気油圧式ローディング・アシスト機能を使って必要に応じてリヤに格納した状態のままルーフを持ち上げることができます。この機能を使えば、ルーフを開いたままで容量 220 リッターのラゲージ・ルームへの荷物の出し入れが容易にできるようになります。

ローディング・アシストは、ルーフを閉じていても開けていても同じようにラゲージ・ルームへのアクセスを容易にします。

このほかにも実用的な機能が用意されています。ラゲージ・ルームの左右に 2 つの収納ボックスがあり、ルーフを閉じているときにここに小物を収納することができます。ルーフを閉じた状態のラゲージ・ルームは 370 リッターの容量があり、これは先代モデルの BMW 3 シリーズ カブリオレよりも 20 リッター大きくなりました。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレには、かさばる荷物を積むこともできます。リヤ・シートのバックレストを倒すとフラットな段差のない収納スペースが生まれ、それを利用して大きな荷物を積むことができます。オプションのスルー・ローディング・システムは、2 通りの利用法を提供します。後席とラゲージ・ルームの間に、大小 2 つの開口部が用意されており、小さい方の開口部を使えば、BMW 4 シリーズ カブリオレに乗員 4 人が座りながらスキー・セットを積むことができます。

インテリアのスポーティでエレガントな機能性。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレのインテリアには、スポーティさと高級感がスタイリッシュに融合しています。複数のラインやサーフェスを重ねて巧みに空間を分割するレイヤリングという手法により、前席では助手席の同乗者を決して排除することなく、それでいて BMW 特有のドライバー・オリエンテッドなレイアウトが演出されています。走行に関連する操作部はすべてドライバーの周囲に人間工学に基づいてまとめられているため、あらゆる機能に快適にアクセスできます。スポーツ・ステアリング・ホイール、ブラック・パネル・ディスプレイを採用した読み取りやすい丸型メーター、独立型フラット・スクリーンの iDrive 用ディスプレイ、快適に操作できるセンター・コンソールの iDrive タッチ・コントローラー（オプションのナビゲーション・システム・プロフェッショナルとセット・オプション）が、機能性とエレガンスを引き立てます。

オプションのツートーン・カラー仕様を選ぶと、ダッシュボードを左右に走る水平なラインがダイナミックにドア・パネルとサイド・トリム・パネルへと伸び、このドアやサイドの明るいカラーとハードトップ・カバーとの組み合わせによるツートン効果が、いわゆる「ボートデッキ」のような高級感のある印象を生み出しています。前席の乗員を包み込むようなラップ・アラウンド・デザインにより、室内に統一感のある広がりと躍動感をもたらし、長いドアがさらにその雰囲気を引き立てています。

ダッシュボードからサイドを通して後部座席まで延びるアクセント・カラーのトリム・ストリップが、前席と後席の居住空間を視覚的に結び付けています。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレのシート・ベルト・ガイド一体型の運転席および助手席シートは、デザインが一変されました。これは他の競合モデルにはない、BMW 製カブリオレだけの特徴です。標準装備のシートは電動調節式です。標準装備のシートでも、後頭部にフィットするデザインのヘッドレスト付きのオプションのスポーツ・シートでも、運転席と助手席の両方にオプションでネック・ウォーマーを装備することができます。これはニューBMW 4 シリーズ カブリオレで初めて装備されるものです。

BMW 4 シリーズ カブリオレのダイナミックなキャラクターは、リヤ・シートにも表れています。特徴的なくっきりとしたラインでバケット形状の左右のシートの間には、カップ・ホルダーとトレイ式小物入れが標準装備されます。後席ヘッドレストは格納式ロールオーバー・プロテクション・システムと分離され、必要に応じて取り外すこともできます。ロールオーバー・バーは2個の頑丈なアルミ製パーツで構成され、万一転覆した場合は200ミリ秒以内に後部から展開し、効果的に乗員を保護します。

5 種類の装備バリエーション。

上質な素材の組み合わせ、エクスクルーシブなカラー、卓越したワークマンシップによって生み出されるさまざまな装備バリエーションが、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレのプレミアムな雰囲気を強調します。基本仕様では、素材やカラー・コンセプトによって、このクルマのややクラシカルなキャラクターを強調しています。インテリアやエクステリアをもっと個性的にしたいとのご希望に応えるため、異なるキャラクターを演出した Sport、Modern、Luxury の3つのデザイン・ラインと、M Sport パッケージを用意しています。

Sport: エクステリアのハイグロス・ブラックのエレメントとサテン・アルミニウム仕上げのウィンドウ・ストリップが、BMW 4 シリーズ カブリオレのスポーティなキャラクターを一層強くアピールします。クローム・フレームで縁取られた特徴的デザインのキドニー・グリルには、ハイグロス・ブラック仕上げのキドニー・グリル・バーが並んでいます。フロント・エプロンに並んだ3つのエア・インテークもブラック仕上げです。エア・ブリーザーはサテン・アルミニウム仕上げとなります。18 インチまたは 19 インチ(オプション)のアロイ・ホイールが、特別スポーティな趣を添えています。リヤ・エンドでは、リヤ・エプロンのブラックのモールディングとブラックのテール・パイプ・トリムが、BMW 4 シリーズ カブリオレのデザイン・ライン Sport のリヤ・ビューを飾っています。

インテリアでは、ブラックとレッドによるアクセント・カラーのコントラスト、丸型メーター内側のレッド・トリム・リング、スポーツ・ステアリング・ホイールにあしらわれたレッドのコントラスト・ステッチによって、スポーティな雰囲気を演出しています。また希望に応じてコーラル・レッドのレザー・スポーツ・シート、レッドのドア・トリム・パネル、レッドのダッシュボード下部といった装備バリエーションにより、スポーティな印象をさらに個性的に仕上げるすることができます。

Luxury: ハイグロス・クロームの上品なアクセントが、ひとときエレガントで高級感のあるフォルムを実現します。フロント側をクローム仕上げにした 11 本の繊細なキドニー・グリル・バー、フロント・エプロン左右のエア・インテークに配されたハイグロス・クロームのダブル・バー、そしてクローム仕上げのエア・ブリーザーが、気品あるアクセントとなっています。またハイグロス・クロームの光沢を放つウインドウ・フレームが、魅力的なアクセントになっています。マルチ・スポーク・スタイリングの専用 18 インチまたは 19 インチ(オプション)のライト・アロイ・ホイールが、Luxury の名にふさわしい上品な姿を際立たせます。

BMW 4 シリーズ カブリオレの Luxury を後ろから見ると、リヤ・エプロンに装着された気品あるハイグロス・クロームのバーとクローム仕上げのエグゾースト・カバーが印象的です。インテリアでも、オーディオおよびエア・コンディショナーの操作パネルにクローム・フレームが装着されるなど、さまざまな箇所でクロームが輝きを放ちます。ハイグロス仕上げのウッド・トリム、個性的なステッチが施されたレザー・シート、クラシックで優雅な 3 つのカラーから選択できる 2 つのカバー・バリエーションが、このラグジュアリーモデルの個性を引き立てます。さらに BMW 4 シリーズのみの設定で、アッシュグレイ・アンソラジット・ファイン・ウッド・インテリア・トリムとパール・グロス・クロームのメタル・インレイ・アクセントがオプションで提供されます。

Modern: マット・クローム仕上げの高品質なアクセントが、Modern の洗練された美しさを引き立てます。マット・クローム仕上げの 11 本のバーが付いた BMW キドニー・グリルのほか、ルーフ・ロワー・エッジ、エア・ブリーザー、フロント・エア・インテークのフレーム、リヤ・エプロンのトリム・ストリップはサテン・アルミニウム仕上げでアクセントを添えています。タービン・スタイリングの 18 インチまたは 19 インチ(オプション)のライト・アロイ・ホイールが、エクステリアのデザインをエレガントに仕上げています。インテリアでは、明るいカラーのダッシュボードとダーク・オイスターのステアリング・ホイール(両方ともブラックを選択可能)が、独特の空間を作り出しています。オイスターまたはブラックのレザーまたはクロス・レザー・コンビネーション・シート、パール・グロス・クローム・ハイライト付きの 4 種類のインテリア・トリムが、コントラストのある素材の組み合わせによる魅力的な雰囲気を生み出しています。

M Sport パッケージ: ニューBMW 4 シリーズ カブリオレの卓越したポテンシャルは、M Sport パッケージを選択することでよりはっきりと際立たせることができます。数多くのエクステリア・コンポーネント(大型エア・インテーク付きフロント・エプロン、ディフューザー付きリヤ・バンパー、サイド・シル・カバー)を含むエアロ・ダイナミクス・パッケージと BMW Individual のハイグロス・シャドウ・ラインに加え、希望に応じて提供されるエストリル・ブルー・メタリックの高品位なボディ・カラーが、ひと目で分かるスポーティなスタイルと最大限の存在感を演出します。M デザイン特有の 18 インチまたは 19 インチ(オプション)のライト・アロイ・ホイールも、スポーティな印象をさらに引き立てます。

インテリアでは、M エントランス・レール、M レザー・ステアリング・ホイール、M フット・レストなどのコンポーネントが、スポーティでエレガントな雰囲気を作り出します。運転席と助手席のスポーツ・シートは、M スポーツ・パッケージのみに提供されるブラック・レザー仕様で、M パイピングおよびロイヤル・ブルーのコントラスト・ステッチがアクセントを添えています。技術的な装備として、M スポーツ・サスペンション、ブルーのコントラスト塗装を施したオプションの M スポーツ・ブレーキがあります。



3. ドライビング・ダイナミクス： オープン・エアの駆けぬける喜び。

BMW 4 シリーズ クーペは、優れた運動性能と卓越したハンドリング特性によって、アクティブな走りを実現します。ニューBMW 4 シリーズ カブリオレもこれと同じ遺伝子を持つものとして、ルーフを開けているときも閉じているときも変わらぬ走りを提供します。ボディやシャシーのコンポーネンツに施したいくつかの剛性向上対策により、ハードトップを開けている状態でも極めて高いねじり剛性を保証します。

先代モデルは軽量構造、俊敏性、ステアリングの正確さという面で基準を打ち立てましたが、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレはそのすべてで先代モデルを凌駕します。バランスのとれた 50:50 の前後軸重量配分、極めて低い重心位置、専用のサスペンション・セットアップ、インテリジェント・ライトウェイト構造コンセプトによって、ダイナミックで風格ある走りを実現する総合パッケージとして完成させました。

一回り大きくなり、より低重心に。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレは先代モデルの BMW 3 シリーズ カブリオレよりもさらにスポーティさに磨きがかかり、一目見ただけでそれを感じさせる存在感があります。それに寄与しているのは、2,810mm(+50mm)のロング・ホイールベースやフロント 1,545mm、リヤ 1,594mmのワイドなトレッド(+45/+81mm)だけではありません。ニューBMW 4 シリーズ カブリオレは、標準仕様でも現行の BMW 3 シリーズ セダンと比べて 10mm 低いロー・ダウン仕様となっており、先代モデルよりも大幅な低重心化を実現しています。

これらのデータからも、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレが卓越したロード・ホールディング、俊敏なハンドリング特性と精密なライン・トレース精度、優れたフィードバックを約束することは明らかです。そしてこのように運動性能を向上させたにもかかわらず、快適性を犠牲にしていないため、このスポーティなカブリオレは日常の足としても十分に価値のあるクルマとなっています。

ダイナミックなサスペンション・セットアップ。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレのサスペンションは、ニューBMW 4 シリーズ クーペのものをベースにしています。しかし、スプリングとダンパー、アクスル・キネマティクスやエラスト・キネマティクスに関しては、この新しいカブリオレのキャラクターに合わせて緻密にマッチングが図られています。サスペンション・エンジニア達は、キャンバー、トレッド、ロール・センターなどのセットアップを修正、微調整し、俊敏性と正確性をさらに向上させました。また、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレの場合は、フロント部分のボディとアンダー・フロアに特殊な教科エレメントを追加し、ステアリング精度とフィードバックを向上させています。

ダブル・ジョイント・スプリング・ストラット式フロント・アクスル。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレのフロント・アクスルは、極めて高い剛性を持ちながら、突出した軽量構造になっています。テンション・ストラット、コントロール・アーム、スィベル・ベアリングは全てアルミ製で、バネ下重量を大幅に低減しています。BMW ならではの後輪駆動により、フロント・アクスルに操舵力を、リヤ・アクスルに推進力を受け持たせたため、ダブル・ジョイント・アクスルの運動学的特性(キネマティクス)を、俊敏性と運動性能を重視したセットアップにすることができました。また BMW 3 シリーズ セダンと比べてコントロール・アームの位置をスィベル・ベアリング方向へ移動させたことでロール・センターを 19mm 下げ、運動性能にプラスの効果をもたらしています。これにより、BMW 4 シリーズ クーペと同様に、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレも俊敏なフットワークで狙い通りのコーナリングを実現します。

積極的な走りをサポートする 5 リンク式リヤ・アクスル。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレのリヤ・アクスルは、運動性能の向上に関して大きな役割を担っていますが、快適性も犠牲にはしていません。その構造は定評ある 5 リンク・コンセプトをベースにしており、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレ専用のエラスト・キネマティクス(弾性運動学的配置)のセットアップを採用しています。さらに、ホイール・キャリアにトレッドおよびキャンバー用の特大のサポート・ベースを採用し、ピボット・ポイントの位置をわずかに修正し、極めて剛性の高いコントロール・アームとアクスル・キャリアを採用し、サスペンションとボディの下周りの接続部に強固なスラスト・アームを使用したことで、極めてスポーティで運動性能を重視するセットアップのための理想的な条件を整えました。そのため、あらゆる状況において正確で卓越したホイール・ガイダンスを実現し、それによる極めて安定した走りを約束します。また、リヤ・アクスル周りに専用の空力対策を施し、運動性能の向上を図っています。

正確なステアリング:

標準装備のサーボトロニック、オプションのバリアブル・スポーツ・ステアリング。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレのスポーティなキャラクターを特徴づける要素は、ステアリングの正確性、ライン・トレース精度の高さ、ダイレクトなレスポンスです。ニューBMW 4 シリーズ カブリオレは、車速感应式パワー・ステアリングのサーボトロニック付き電動パワー・ステアリングを標準装備しています。このモデルのステアリング特性マップは、シャープなハンドリングと明確なフィードバックが得られるように最適に設定されています。ニューBMW 4 シリーズ カブリオレには、ステアリングの操作量に応じてステアリング・ギヤ・レシオを調整できる、バリアブル・スポーツ・ステアリングをオプションで装備できます。これを選択するとわずかな力でステアリング操作を行え、しかも高速走行では最高の方向安定性が得られ、優れた直進安定性を確保します。

軽量構造の高性能ブレーキ・システム。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレには、高い運動性能に見合ったブレーキ・システムとして、フローティング・キャリパーまたは固定キャリパーに大径ベンチレーテッド・ブレーキ・ディスクを備えた高性能ブレーキ・システムを装備しています。フロント・ブレーキ・キャリパーはアルミ製で、バネ下重量を低減し、熱安定性に優れ、極めて優れたウェット・ブレーキ性能、高い操作快適性、正確な制動力配分といった特徴を備えています。また全モデルに、ブレーキ・パッド摩耗インジケーター、ドライ・ブレーキ機能を標準装備しています。

高張力鋼および超高張力鋼の採用で極めて高い剛性を獲得。

車両の運動性能は車重に大きく影響を受けます。つまりスポーティなキャラクターにはインテリジェント・ライトウェイト構造コンセプトが大きく貢献するということであり、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレでもそのことが立証されています。高張力鋼や超高張力多相鋼を採用したり、いわゆるテーラード・ブランク（あらかじめ目的に合わせて正確に加工されたコンポーネント）を使用したりすることで最大限のボディ強度を得ており、先代モデルに比べるとねじり剛性は 40% アップしています。ルーフに支持構造部の働きを期待することのできないカブリオレにとって、剛性アップは極めて重要です。ニューBMW 4 シリーズ カブリオレでは、ボディ・サイズが大型化し、対応する安全基準がレベルアップしたにもかかわらず、モデル・バリエーションによっては先代モデルよりも車重が最大 20kg も軽くなっています。

エアロダイナミクスの品質。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレは、ハードトップを閉じた状態の空気抵抗係数が $C_d = 0.28$ （オープン時で $C_d = 0.33$ ）をマークしています。これは BMW 4 シリーズ クーペと同レベルを実現しており、優れた空力特性を達成しています。フロント・エプロンとリヤ・エンドを最適化したことが、これに貢献しています。フロント・エプロンには最近の BMW モデルに特有のエア・カーテンが設けられ、カーテン状の気流を形成し、フロント・ホイールでの気流の乱れを減らします。空気でカーテンのように膜を作ることによってフロント・ホイール付近の乱気流と空気抵抗を抑えます。空気が円滑に流れるようにデザインされたフロント・ホイール・ハウスの後方にあるエア・ブリーザーは、フロント・ホイール・アーチ後方に流れこむ空気の一部の方向を変えることで空気抵抗を減少させます。これらの対策はスポーティな走りに適した揚力係数を実現し、同時に燃費向上にも寄与しています。

アダプティブ・サスペンションと M スポーツ・サスペンション。

M スポーツ・パッケージに含まれる M スポーツ・サスペンションは個別に装備することもでき、全てのモデルのスポーティな特性を一段と向上させます。このサスペンションには固めのスプリング／ダンパー・セットアップが施され、より剛性の高いスタビライザーを装備し、このサスペンションには固めのスプリング／ダンパー・セットアップが施され、より剛性の高いスタビライザーを装備しニューBMW 4 シリーズ カブリオレ専用のセットアップとなっています。スポーティなキャラクターをいっそう引き立てる電子制御ダンパー付きアダプティブ・サスペンションもオプション設定されており、ダンパー特性曲線を路面状況や走行状態に合わせて選択できます。その他には、ドライバーがサスペンションの基本調整をスポーツ志向に、あるいは快適性重視の設定に調整することができるドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチがあります。スポーツ・モードを選択すると、オプションの M スポーツ・サスペンションを装備したかのような極めてスポーティな設定になります。

スポーティな走りがお好みのお客様には、M スポーツ・ブレーキを用意しています。アルミ製固定キャリパー(フロントが4ピストン、リヤが2ピストン)を備え、大径ブレーキ・ディスクを装備した高性能ブレーキは、極めて軽量ながら非常に短い制動停止距離を実現します。

ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチで、COMFORT、SPORT、ECO PRO などのモードを選択。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレでは、走行状況や個人の好みに応じて車両の全般的な特性をスポーツ志向に、あるいは快適性重視に変更することができます。各走行モードの選択は、センター・コンソールに装備された ECO PRO モード付きドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチで行います。ドライバーが ECO PRO、COMFORT、SPORT、あるいは SPORT+(スポーツ・ラインまたは M スポーツ・パッケージとの組み合わせでのみ選択可能)のいずれかのモードを選ぶと、あらかじめ設定されているドライブ・トレインおよびサスペンション・コンポーネントの設定が呼び出されます。



4. パワートレイン： ダイナミックで効率的なエンジン。

カブリオレを所有するということは、エレガントなライン、スポーティなパフォーマンス、オープン・エア・ドライビングのスリルある体験に情熱を燃やすドライバーであると表明することでもあります。プレミアム・モデルのカブリオレならば、これに加えてスポーティでエレガントな外見にふさわしい走行性能と優れた運動性能が求められます。ニューBMW 4シリーズ カブリオレは、最新技術を駆使したパワートレインによって、積極的に走りを楽しみたいという高い期待にも応えます。

フロントに直列エンジンを縦置き搭載し、後輪で駆動するという駆動方式は、BMW が自信を持って採用し続ける由緒正しき駆動コンセプトであり、最上級の駆けぬける歓びを約束します。ニューBMW 4シリーズ カブリオレに用意されたすべてのエンジンは、スポーティな出力特性と理想的な効率の良さを両立する BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用しています。また、全てのエンジンが EU6 排出ガス基準をクリアしています。市場導入時には、直列 6 気筒ガソリン・エンジンを搭載する BMW 435i カブリオレ、直列 4 気筒ガソリン・エンジンを搭載する BMW 428i カブリオレ、直列 4 気筒ディーゼル・エンジンを搭載する BMW 420d カブリオレの 3 種類が用意されます。

駆動力の伝達は標準装備の 6 速マニュアル・トランスミッションで行われ、さらに全てのエンジンにオプションで 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションを組み合わせることもできます。どちらのトランスミッションも、無駄な燃料消費を抑えるエンジン・オート・スタート・ストップ機能を装備しています。

トップ・アスリート:BMW 435i カブリオレの直列 6 気筒エンジン。

胸のすく吹け上がり、特有の滑らかさ、卓越した作動特性、そして理想的な効率の高さを実現する直列 6 気筒ガソリン・エンジンにより、スポーティさを求めてやまないドライバーでも完璧に満足させます。高精度ダイレクト・インジェクション・システムと無段階可変バルブ・コントロール・システムのバルブトロニックを搭載し、アルミ製クランクケースを備えた 3.0 リッター・エンジンは、最高出力 225kW[306ps] / 5,800~6,000rpm を発生します。またわずか 1,200rpm のエンジン回転数からすでに 400Nm の最大トルクを発生し、そのまま 5,000rpm まで維持します。そのパフォーマンスは、これらの数字上のデータだけではわからない、突出した運動性能を約束します。

強力な 6 気筒エンジンのスポーティな出力特性により、ニューBMW 435i カブリオレは発進から 100km/h までをわずか 5.6 秒で加速し、最高速度は 250km/h で電子的に制限されます。その感動的な走行性能にもかかわらずこの 6 気筒エンジンは極めて低燃費で、発生する有害物質はわずかです。EU テスト・サイクルによる 100km 走行あたりの平均燃費は 8.1~8.4 リッターで、1km 走行あたりの CO₂ 排出量は 190~195g/km です(装着したタイヤによって異なる)。オプションの 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションと組み合わせると、ニューBMW 435i カブリオレはさらに優れた数値をマークします。モデル・シリーズ中ののトップ・モデルでさえ、わずか 7.5~7.7 リッター/100km の複合サイクル燃費と、176~180g/km という CO₂ 排出量を達成しています。

軽量で高出力:BMW 428i カブリオレの 4 気筒エンジン。

素晴らしい吹け上がり、高トルク、高い最高回転数、軽量といった重要な特性を持つ排気量 2.0 リッターの直列 4 気筒ターボ・エンジンは、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレの運動性能コンセプトに完璧に適合しています。このエンジンも、高精度ダイレクト・インジェクション・システム、ツイン・スクロール・ターボ過給システム、可変カムシャフト・コントロール・システムのダブル VANOS、無段階可変バルブ・コントロール・システムのバルブトロニックによる BMW ならではのテクノロジー・パッケージによって潜在的なパワーを高め、同時に燃費と排出ガスを削減しています。

この最新の 4 気筒ガソリン・エンジンは、最高出力 180 kW[245ps] / 5,000~6,500rpm を発生し、1,250~4,800rpm のエンジン回転数域で 350Nm の最大トルクを発揮します。このような出力特性のおかげで、ニューBMW 428i カブリオレは 0-100km/h 加速をわずか 6.4 秒で駆けぬけ、最高速度は 250km/h に達します（電子的に制限）。このエンジンは、ドライバーのアクセル操作をすぐさま駆動力に変換し、アイドリング回転数のすぐ上から素晴らしい吹け上がりを見せ、高回転域に達するまでほぼ途切れることなくそれが続きます。BMW 428i カブリオレの EU テスト・サイクルにおける平均燃費はわずか 6.8~7.0 リッター/100km、CO₂ 排出量は 159~163g/km と、同じく優れた数値をマークしています（装着したタイヤによって異なる）。もちろん、オプションの 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションを搭載すればさらなる燃費削減も可能となります。その場合、BMW 428i カブリオレの複合サイクル燃費は 6.6~6.7 リッター/100km に、また CO₂ 排出量は 154~157g/km に改善されます。

パワフルで効率的:BMW 420d カブリオレの 4 気筒ディーゼル・エンジン。

BMW はすでに何年も前に、カブリオレにディーゼル・エンジンを搭載することが極めて魅力的な選択肢になり得ることを証明しています。現在では、このエンジン・バリエーションがカブリオレのスポーティな走りの妨げになることはないとは広く認められています。ニューBMW 420d カブリオレの最新世代の 4 気筒ディーゼル・エンジンも、アクティブな走りを損なうことなく、高トルク、理想的な作動特性、卓越した効率性を実現します。アルミ製クランクケースを採用した最新のディーゼル・エンジンは、さまざまな点で基準を打ち立てました。最新世代のコモンレール式ダイレクト・インジェクション、可変タービン・ジオメトリー式ターボ・チャージャー、高精度の電磁バルブ式インジェクターが、燃費と排出ガスを大幅に削減し、同時にレスポンスの良さと強力な駆動力を生み出します。

最高出力 135kW[184ps]/4,000rpm と最大トルク 380Nm/1,750~2,750rpm を発生するニューBMW 420d カブリオレは、極めてダイナミックな走りが可能です。発進から 100km/h までの加速はわずか 8.2 秒で、必要に応じてこの俊敏なディーゼル・エンジンが最高 235km/h まで加速します。平均燃費は 5.1~5.3 リッター/100km で、CO₂ 排出量は 133~138g/km (EU テスト・サイクル、装着したタイヤによって異なる)を記録し、このクラスで最もクリーンかつ低燃費のディーゼル・エンジンを搭載したニューBMW 420d カブリオレは、高性能かつ高効率なアスリートの姿を見せつけます。

標準装備の 6 速マニュアル・トランスミッション。

軽快なギヤ・チェンジ、正確なシフト・ストローク、最適化されたギヤ・レシオが、スポーティなニューBMW 4 シリーズ カブリオレの 6 速マニュアル・トランスミッションの特徴です。スポーティで意欲的なドライバーにとって、エンジン・パワーを推進力に変えるインターフェースは、その運動性能を最大限に駆使するために重要な役割を果たします。このマニュアル・ギアボックスは、高性能なシフト・クオリティによって、俊敏な発進加速と素早い追越し加速を実現し、さらに燃料消費量を削減するためにも貢献します。

オプションの 8 速オートマチック・トランスミッションと

8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッション。

高性能 8 速オートマチック・トランスミッションは、極めて素早いギヤ・チェンジと卓越したシフト快適性を実現し、スポーティな走りを求めるドライバーに完璧に応えます。ギヤ段数が増え、変速の際の回転数の変化が小さくなるため最適なギヤ比を利用することができ、ダイナミックで胸のすく走りから快適なクルージングまで、ほぼすべてのドライビング・スタイルをカバーします。また 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションは、ステアリング・ホイールのパドル・スイッチを使うか、またはストロークの短いシフト・レバーでマニュアル・シフトを愉しむこともできます。

BMW xDrive: オプションのインテリジェント四輪駆動システム。

2014 年春以降、BMW 428i カブリオレも伝統的な後輪駆動方式に代えて、インテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive を選択することができるようになります。優れたトラクション、最大限の安全性、路面への最適な駆動力伝達といった四輪駆動特有のベネフィットに加え、BMW xDrive はコーナリングの際に起こり得るオーバー・ステアやアンダー・ステアを抑え、それによりコーナリング時のハンドル操作あるいはコーナー出口での急加速などの際に、俊敏性とライン・トレース精度を向上させます。また突然の負荷変動が生じた場合でも、この四輪駆動システムがそれを楽々と補正し、その結果、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレの運動性能をさらに高めます。

5. BMW エフィシエント・ダイナミクス、 BMW コネクテッド・ドライブ。



エフィシエント・ダイナミクスのコースティング・モード。

高い運動性能だけでなく、その突出した経済性も、ニューBMW 4 シリーズ・カブリオレの駆けぬける歓びに貢献します。そのために、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレには BMW EfficientDynamics 開発戦略から生まれた技術が随所に採り入れられています。

低燃費で高効率のガソリン・エンジンとディーゼル・エンジン、革新的な構造で摩擦損失を抑えて効率を最適化した軽量トランスミッション、アクセル・ペダルの特性マップやエンジン・コントロール、ならびにエア・コンディショナー制御やエネルギー・マネージメントにも影響を及ぼす ECO PRO モードを選択できるドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチなどが、燃費と排出ガスの削減に寄与しています。

ニューBMW 4 シリーズ クーペと同様に、BMW 4 シリーズ カブリオレでも、オプションの 8 速オートマチック・トランスミッションとの組み合わせでコースティング・モードが提供されます。この場合、車速が約 50～160km/h の範囲内でドライバーがアクセル・ペダルから足を放すとドライブ・トレインの連結を解除します。燃費向上に寄与するその他の対策として、インテリジェント・ライトウェイト構造、洗練されたエアロダイナミクス、オンデマンド制御の補機類、革新的なプロアクティブ・ドライビング・アシスタント機能なども貢献しています。プロアクティブ・ドライビング・アシスタント機能は、燃費向上につながるよう、カーブや制限速度区域に差し掛かった時、減速する最適なタイミングをドライバーに示す機能です。

コネクテッド・ドライブ、安全性、快適性とインフォテインメント。

BMW はクルマと外部の環境とをネットワークで結ぶことの重要性を早くから認識し、何年も前から BMW コネクテッド・ドライブのもと、デジタル・ワールドの車両への統合を行ってきました。BMW 4 シリーズ カブリオレの BMW コネクテッド・ドライブは、標準装備またはオプション装備として他に例のないほど豊富に提供されるドライバー・アシスタント・システムとモビリティ・サービスにより、その卓越したテクノロジーを実証します。乗員、クルマ、自動車を取り巻く環境とのインテリジェント・ネットワークが、自動車における最高の快適性、インフォテインメント、安全性を保証します。今後の技術革新の発展を考慮して、車両を購入した後でもコミュニケーション・サービスをオーダーし、サービスに加入できる柔軟な対応策も用意しています。

高性能のナビゲーション・システム・プロフェッショナル。

新世代ナビゲーション・システム・プロフェッショナルは、機能性を大幅に向上し、高解像度で高いコントラストのカラー・ディスプレイを装備しました。デザインを一新し、操作性も向上させましたが、定評あるメニュー・ガイドはそのままに多くの機能を追加しました。ユーザー・インターフェースは画面全体を見直し、ナビゲーション用マップは 3D 表示が可能になりました。ダッシュボード中央に配置するコントロール・ディスプレイの操作は、人間工学を考慮した完璧な位置に配置されたセンター・コンソールの iDrive タッチ・コントローラーを使用して行います。またコントローラー表面に新たにタッチ・センサーと近接センサーを組み込んで、指先で手書き文字入力や施設名称を入力できるようになりました。

渋滞をスマートに回避:リアルタイム・トラフィック・インフォメーション(RTTI)。

ナビゲーションの品質は、基本となるデータの質と鮮度にかかっています。BMW がオプションで提供するリアルタイム交通情報(RTTI)は、モバイル通信ネットワークを通じて極めて高速かつ広範囲にわたるデータ伝送をサポートします。車両に内蔵された SIM カードと通信モジュールでリアルタイムに交通情報を受信し、それを直ちにルート計算、または推奨迂回路の計算に利用します。システムは高速道路のほか、幹線道路、一般道路、さらに市街地の道路までもカバーします。それ以外に、地域の公的交通管理システムからもデータを取り込み、情報精度の向上を図ります。

明るく高解像度でフルカラー表示:ヘッドアップ・ディスプレイ。

最新世代のフルカラー・ヘッドアップ・ディスプレイは、すべての重要な情報を卓越した解像度でフロント・ウィンドウのドライバーの視野内に投影し、安全性と快適性を高めます。車両の装備に応じて、現在の車速の他に制限速度や追い越し禁止区間を表示できるほか、さらにナビゲーション・システムのガイダンスやさまざまな警告も表示されます。多様なドライバー・アシスタント・システムを提供することになったため、ヘッドアップ・ディスプレイに表示できる情報もこれまでにない豊富さになりました。

歩行者と衝突する可能性も警告:ドライビング・アシスト。

ドライビング・アシストは、高度にネットワークされた一連のカメラ・ベースのアシスタント・システムにより捉えた画像情報を処理し、自車の前方にいる歩行者や他の車両を検知します。前走車に衝突する危険性が迫っている場合、緊急警告音とメーター・パネルまたはオプションのヘッドアップ・ディスプレイの視覚警告表示により、ドライバーに接近し過ぎていることを警告します。システムが衝突を回避できないと判断した場合は、自動で緊急ブレーキが作動し、穏やかに減速させます。いずれの場合でも、警告を発すると同時に車両のブレーキ・システムはフル・ブレーキの準備が行われ、システム内の圧力を上昇させます。

多才な機能:ストップ&ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロール。

アクティブ・セーフティを大幅に強化し、快適性のさらなる向上に寄与するのがストップ & ゴー機能付きのアクティブ・クルーズ・コントロール(ACC ストップ & ゴー)です。フルレンジ・レーダー・センサーに加えてルーム・ミラーに内蔵されたフロント・カメラを使用して、交通状況をさらに良好に把握できるようにしています。前走車との車間距離をシステムが継続的に計測し、設定された車間距離を維持する機能の他に、静止している障害物を検知すると必要に応じてドライバーに警告します。自動車間距離コントロールを行うアクティブ・クルーズ・コントロールは、30km/h~210km/h までの速度で使用できます。

スピード・リミット・インフォが一時的な速度制限も検知。

ナビゲーション・システム・プロフェッショナル/ナビゲーション・システム・ビジネスにスピード・リミット・インフォを組み合わせると、ドライバーは現在走行中の道路の制限速度を容易に確認できます。フロント・カメラを利用して、追加情報表示や工事現場などの一時的な制限区域も考慮します。

センサーとカメラを利用：

レーン・チェンジ・ウォーニングおよびレーン・ディパーチャー・ウォーニング。

快適性および安全性に関するドライバー・アシスタント・システムとして、レーン・チェンジ・ウォーニング(車線変更警告)およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング(車線逸脱警告)があります。車線逸脱警告システムは、オプションのドライビング・アシストに含まれます。このシステムはレーダー・センサーとモニター・カメラを利用して、車線変更時や意図せず走行車線を外れそうになったときなどの際、他車との衝突の危険を察知するとドライバーに危険を警告し、さらに先行車両に接近しすぎた場合にも警告を発します。

眩惑防止ハイビーム・アシスタント付き LED ヘッドライト。

フル LED ヘッドライトは、明るい白色光で路面を特に集中的に照らします。ヘッドライトの眩惑防止機能は、前方から対向車が接近してきた場合、該当する車両を眩惑させないように、ピンポイントでヘッドライト・ハイビームのまぶしい領域にカバーをかけます。ただし、道路状況によって必要な場合には、ハイビーム・アシスタントはヘッドライトの片側または両側をロービームに切り換えます。フル LED ヘッドライト装備車両では、標準装備のフォグライトも LED となります。

いつでも周囲の状況を一望し、パーキング・アシスタントで快適に駐車。

リヤ・ビュー・カメラとパーク・ディスタンス・コントロールに加えて、オプションのサイド・ビュー／トップ・ビュー付きサラウンド・ビュー機能を装備すると、BMW 4 シリーズ カブリオレの周囲を運転席から一望できるようになります。この表示を利用することで、狭いスペースでも非常に正確に操車することができます。車速が 20km/h 以下の場合、ドライバーはさらにサイド・ビュー機能を作動させて、左右方向の交通状況を確認することができます。その他の快適なアシスタント・システムとして、BMW パーキング・アシストがあります。このシステムは、縦列駐車をするための駐車スペースを自動で探し、実際の縦列駐車の手動操作をドライバーに代わって行います。

アクティブ・プロテクションがドライバーの運転操作を監視。

セーフティ・パッケージであるアクティブ・プロテクションは、注意力低下モニターが追加されてさらに包括的になりました。システムのコントロール・ユニットは、車両のさまざまな信号を利用してドライバーの運転操作を分析します。疲労の蓄積を示す典型的な兆候が頻発するようになると、システムがコントロール・ディスプレイにコーヒーマグのシンボルを表示して、ドライバーに休憩を促します。安全対策に関する機能を拡張し、自動的に自車位置を検知できるエマージェンシー・コール機能が付いたセーフティ・パッケージのアクティブ・プロテクションは、万一の事故の際の影響を軽減し、乗員を保護します。車両を発進させるとすぐにアクティブ・プロテクションが作動し、走行に危険を及ぼすプリ・クラッシュ状況が発生すると、前席のシートベルトを引き締め、サイド・ウィンドウとサンルーフを閉めます。システムが衝突の危険を検知して衝突が避けられなくなると、車両が自動的にブレーキを作動させて停車し、ブレーキをロックした状態に維持します。こうすることで二次衝突の危険性を大幅に低減するか、完全に回避します。

BMW コネクテッド・ドライブの提供する革新的なサービス。

インフォテインメント分野の非常に高いニーズに応え、とりわけ高度なインターフェース・テクノロジーを採用することにより、市販の携帯電話やミュージック・プレーヤーを広範囲に利用できるようになります。この場合、ユーザーは BMW オンラインによって選択したサービス製品を利用できます。新世代のナビゲーション・システム・プロフェッショナルを装備すると、フリー・テキスト音声認識機能や最適化されたボイス・コントロール機能により、コネクテッド・ドライブのオフィス機能の数々の製品を完全に利用することができます。

フリー・テキスト音声認識機能では、初めてドライバーがただ話すだけで、短いテキスト・メッセージを「書く」ことができるディクテーション（口述筆記）機能が利用できるようになりました。さらに、インターネット・ベースのサービス、カレンダーの入力、ショート・メッセージなどを iDrive コントロール・ディスプレイに表示し、音声出力機能を使って読み上げさせることもできるようになりました。また、スマートフォンやミュージック・プレーヤーに収録した個人の音楽ライブラリーを利用することもできます。BMW コネクテッド・アプリを利用すれば、ウェブ・ラジオ機能 Aupeo! のサービスや Facebook、Twitter などのソーシャル・ネットワークも使えます。さらにマイ BMW リモート (My BMW Remote) のアプリを利用すると、例えば車両のロック／ロック解除やパーキング・ヒーターを遠隔操作することができます。その他に、Google マップや、Panoramio を介した情報およびオフィス・サービスや、トラベル&レジャー・プランナーなども、ニューBMW 4 シリーズ カブリオレで長距離ドライブするときの快適性を高めるのに役立ちます。

6. 主要諸元。

ニューBMW 4 シリーズ カブリオレ。



		BMW 420d	BMW 428i	BMW 435i
ボディ				
ドア数/座席数		2/4	2/4	2/4
全長/全幅/全高(空車時)	mm	4638 / 1825 / 1384	4638 / 1825 / 1384	4638 / 1825 / 1384
ホイールベース	mm	2810	2810	2810
トレッド幅 フロント/リヤ	mm	1545 / 1594	1545 / 1594	1545 / 1594
最低地上高		130	130	130
最小回転直径	m	11.3	11.3	11.3
燃料タンク容量 (約)	リッター	57	60	60
ヒーターを含む冷却システム容量	リッター	7.0 (7.0)	8.2 (9.1)	6.7 (7.2)
エンジン・オイル ¹⁾	リッター	5.2	5.0	6.5
車両重量(DIN/EU)	kg	1680/1755 (1690/1765)	1680/1755 (1700/1775)	1740/1815 (1750/1825)
積載量(DIN)	kg	470	460	460
許容総重量	kg	2150 (2160)	2140 (2160)	2200 (2210)
許容アックスル荷重 フロント/リヤ	kg	965/1230	960/1230	1015/1230
許容牽引荷重(12%) ブレーキ付き/ブレーキなし	kg	1600/745	1600/745	1700/750
許容ルーフ積載荷重/許容サポート荷重	kg	--/75	--/75	--/75
ラゲージ・ルーム容量	リッター	220-370	220-370	220-370
空気抵抗	Cd x A	0.28 x 2.16	0.30 x 2.16	0.31 x 2.16
エンジン				
型式/気筒数/バルブ数		直列/4/4	直列/4/4	直列/6/4
エンジン・テクノロジー		BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー: 可変インテーク・ジオメトリ・ターボ・チャージャー、コモンレール・ダイレクト・インジェクション		
排気量	cc	1995	1997	2979
ストローク/ボア	mm	90.0 / 84.0	90.1 / 84.0	89.6 / 84.0
圧縮比	:1	16.5	10.0	10.2
燃料		ディーゼル	RON 91 以上	RON 91 以上
最高出力	kW/ps	135/184	180 / 245	225/306
発生エンジン回転数	rpm	4000	5000-6500	5800-6000
システム合計トルク	Nm	380	350	400
発生エンジン回転数	rpm	1750-2750	1250-4800	1,200-5,000
電装品				
バッテリー/取付け位置	Ah/-	90/ラゲージ・ルーム	90/ラゲージ・ルーム	90/ラゲージ・ルーム
オルタネーター	A/W	175/2450	170/2380	210/2940
ドライビング・ダイナミクスと安全性				
フロント・サスペンション		アルミ製ダブル・ジョイント・スプリング・ストラット		
リヤ・サスペンション		軽量スチール製 5 リンク式アックスル		
フロント・ブレーキ		シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ/ベンチレーテッド		
リヤ・ブレーキ		シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ/ベンチレーテッド		
走行安定化システム		標準装備: ABS および DTC を統合した DSC、コーナリング・ブレーキ・コントロール CBC、ブレーキ・アシスタント DBC、ブレーキ・ドライビング機能、フェード補正、発進アシスト		
安全装備		標準装備: フロント・エアバッグ(運転席/助手席)、サイド・エアバッグ(運転席/助手席)、ヘッド・エアバッグ(前席/後席)、3 点式 ELR オートマチック・シートベルト(全席。前席シートベルトはベルト・ストッパー、ベルト・テンショナー、ベルト・フォース・リミッター付き)、衝撃感応式フロント・アクティブ・ヘッドレスト、ロールオーバー・プロテクション・システム、クラッシュ・センサー、RPA(タイヤ空気圧警告)機能		
ステアリング		電気機械式ラック・パワー ステアリング(EPS)		
ステアリング総変速比	:1	15.0	15.0	15.0
タイヤ フロント/リヤ		225/50 R17 94W	225/50 R17 94W	225/50 R17 94W
ホイール フロント/リヤ		7.5J x 17 アロイ	7.5J x 17 アロイ	7.5J x 17 アロイ

			BMW 420d	BMW 428i	BMW 435i
トランスミッション					
トランスミッション型式			6 速マニュアル・トランスミッション(オプション: 8 速オートマチック・トランスミッション)		
ギヤ比	1	:1	4.110(4.714)	3.683(4.714)	4.110(4.714)
	2	:1	2.284(3.143)	2.062(3.143)	2.248(3.143)
	3	:1	1.403(2.106)	1.313(2.106)	1.403(2.106)
	4	:1	1.000(1.667)	1.000(1.667)	1.000(1.667)
	V	:1	0.802(1.285)	0.809(1.285)	0.802(1.285)
	6	:1	0.659(1.000)	0.677(1.000)	0.659(1.000)
	7	:1	----- (0.839)	----- (0.839)	----- (0.839)
	8	:1	----- (0.667)	----- (0.667)	----- (0.667)
	R	:1	3.727(3.295)	3.348(3.295)	3.727(3.295)
最終減速比		:1	3.385(2.813)	3.909(3.154)	3.231(3.154)
走行性能					
パワー・ウェイト・レシオ	kg/kW		12.4(12.5)	9.3(9.4)	7.7(7.8)
リッターあたり出力	kW/リッター		67.7	90.1	75.5
加速性能	0-100km/h	秒	8.2(8.2)	6.4(6.4)	5.6(5.5)
	0-1,000m	秒	28.9(28.9)	26.2(26.5)	24.9(24.9)
4/5 速	80-120km/h	秒	6.5/8.3(-)	6.1/7.9(-)	5.6/6.8(-)
最高速度	km/h		235(228)	250(250)	250(250)
BMW EfficientDynamics					
BMW EfficientDynamics 対策(標準装備)			ブレーキ・エネルギー回生システム、エレクトロニック・パワー・ステアリング、オート・スタート・ストップ機能、シフト・ポイント・インジケーター(マニュアル・トランスミッション車)、ECO PRO モード、インテリジェント・ライトウェイト構造、補機類のオンデマンド制御、特性マップ制御式オイル・ポンプ、ウォームアップ特性を最適化したファイナル・ドライブ、低転がり抵抗タイヤ		
EU テスト・サイクルでの燃費 ²⁾					
標準タイヤ装着:					
市街地	リッター／100km		6.0(5.7)	8.8(8.6)	11.4(10.8)
郊外	リッター ／ 100km		4.5(4.3)	5.7(5.5)	6.2(5.6)
合計	リッター／100km		5.1(4.8)	6.8(6.6)	8.1(7.5)
CO ₂ 排出量	g/km		133(127)	159(154)	190(176)
排ガス基準			EU6	EU6	EU6
保険等級					
KH/VK/TK			現時点で情報なし		

本主要諸元は ACEA (欧州自動車工業会) 市場に適用 / 登録関連の一部データはドイツにのみ適用 (重量)。
括弧内の数値はオートマチック・トランスミッション車。

¹⁾ オイル交換量。

²⁾ 燃費および CO₂ 排出量は装着したタイヤの種類によって異なる。